

おねがいとお知らせ

- 1 本校では今年度、複数の教師（学級・学年・専科）による子どもの理解や子どもの心の安定をはかることをねらいとした高学年における教科担任制、全学年における交換授業に取り組んでいます。よろしくお願いいたします。
- 2 本校は、校内に**人権ハラスメント委員会**を設置しています。教職員や児童の間のいじめや人権・セクハラに関すること等、気になることがありましたら是非、ご一報ください。連絡窓口は、保健室（養護教諭 原百合子）です。その他学校のことやお子さんのことなどで心配なことや学校の活動などについて質問等ありましたら、連絡帳を活用いただきご記入ください。電話でもよいです。また子どものよさ等がありましたら、それも是非、情報をお寄せください。よい点も、改善したい点も、子どもを取り巻くみなさんと共有し、連携していけたらと思います。自尊感情が高い子は、人の優しさを信じられる子です。そういう子はいじめをしない、学力も高い傾向があります。子どもの良いところ、良くなったところを見逃さない指導を、学校と家庭が連携して心がけましょう。
- 3 特別支援連携コーディネーターは大草先生、スクールカウンセラーは八賀貴子先生です。カウンセリングを希望する場合は、養護教諭・担任などに遠慮なく申し出てください。日程を調整させていただきます。

4 ボランティアの随時募集について

本校は、地域に根ざし、地域の皆さんと力を合わせて教育活動にあたる、高山村共育コミュニティに参画しております。読み聞かせや書写・給食・清掃支援、授業支援やあそび、語らいなど様々な学校支援ボランティアの皆さんに來校いただき、教育活動を支えていただいております。PTA 活動の一環として、無理なく楽しんでやっただく体制を整えています。これからも継続していただけるとありがたいです。ボランティアは随時募集しておりますので、ご希望があればいつでも教頭や職員に声をかけてください。

5 わくわく村について

本校の大きな魅力であり特色でもある「わくわく村」は、親子のふれあい教養・体験講座です。今年度も開催される講座や日程表が配付されます。どの親子も申し込むことができます。コロナ禍の中ですが、感染予防対策を考え、希望調査をとって実施していく予定です。なお、感染拡大状況により中止になることもあります。よろしくお願いいたします。

6 長野県教育委員会の体罰等相談について

高山小学校職員は、スピード違反・飲酒運転・体罰やスクールセクハラなどの非違行為のない学校を心がけて職員研修や学習会を積み重ねております。県教育委員会でも以下の相談窓口がありますのでご承知おきください。

***県教育委員会では、「体罰に関わる相談窓口」を設けています。**

下記まで、封書、電話、ファックス、メール等で相談ができますので、ご利用ください。

宛 先	長野県教育委員会義務教育課 「体罰に関わる相談窓口」 宛
住 所	〒380-8570 長野市南長野幅下 692-2
電 話	026 - 235 - 7426（直通）
F A X	026 - 235 - 7494
E-mail	taibatsu-sodan@pref.nagano.lg.jp

7 高山小学校は「ユネスコスクール」です。

高山小学校はユネスコスクールに認定されています。県内の ESD を推進する学校や団体が集まって「信州 ESD コンソーシアム」成果発表会にも参加しています。今までのふるさと学習をはじめとする取り組みや高山村の魅力についての発表をしてくれました。県内ではまだまだ少数のユネスコスクールですが、今後どんどん増えると予想されます。本校はユネスコスクールの先進校として県内の ESD を牽引していく責務を担っております。特に次の2つを大事にしていきます。

- ① ふるさととの良さを知り、その魅力を支えたり発信したりして、大人の方々の生き方に触れる体験活動を重視したふるさと学習を展開する。
- ② 他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、「関わり」「つながり」を尊重できる個人を育む。
「高山村の豊かな自然や風土や歴史・文化の良さに触れ、誇りとし、村内外の人々と積極的に交流し関わり合いながら、美しい自然や文化を守り尊重し、共に豊かに生きていくことのできる人間性を育成する学校」ということです。この村で生まれ育つことは、子どもたちにとって何ものにも代え難い貴重な財産であり、生涯にわたってアイデンティティとして心の根っこに据えられていくはずで、高山小学校では、教育活動を行う際にそういう視点を大事にしていきます。今年度も、学校・保護者・地域が連携協力し、未来を担う子どもたちのために共に教育活動を推進していただきますよう、お願い申し上げます。